

ー白血病ウィルス性リンパ腫と戦う猫 ミロちゃんー

里親から譲ってもらった生後1ヶ月半の930gのミロが我が家に来てから9ヶ月後、元気一杯の甘えっ子の男の子だったのに急に息が荒くなり病院へ連れていったら白血病ウィルス性悪性リンパ腫と診断されました。

胸水が溜まり肺が圧迫され呼吸が苦しい。直ぐに酸素ハウスのレンタルを勧められステロイド、抗生物質を2回飲む毎日。

毎朝、起こしてくれていたのにぐったりとご飯も食べなくなり、なんとか子猫用チュールのみ。沢山調べて代替え治療のコルティも飲んでもらうと毛がフワフワとしてきたので少し希望持てましたが一進一退の日々でした。このまま呼吸が苦しくなると可哀想なので安楽死を獣医に勧められました。もっと早く気が付いていれば間に合ったのかと…この子が死んだら、私も死ぬかと絶望でした。

そんな時、病名で検索したら動物気功院のHPを見つけ、すぐの思いで電話をしたら土本先生の優しい声でアドバイスをいただきました。

最初の電話から直ぐに励まされ、泣いてばかりではミロちゃんが不安になるから泣く時は見えないところでと教えて頂きました。

毎日、苦しそうにしているミロの前で泣いていると必ず背中を向けるミロだったので不安だったねと反省しました。

1日に4回も遠隔気功をしてもらうとリラックスしだし、段々ミロの眼に光が宿りました。

最初に電話した日から何度もミロの様子を気にかけて連絡をいただき、先生が遠隔気功をして下さって、私自身もミロに気功をしてあげるよう言ってもらえやり方も詳しく教えてもらいました。

不慣れでも酸素ハウスの外から祈りながら、ミロに手をかざしていたら夜中に大きな声で鳴き、酸素ハウスから出てきて大好きなアパートの廊下に出たいと催促したんです。

ずっと酸素ハウスの中で寝ていたミロがしっかりとした足取りで歩きはじめ体調をくずしてから1週間ぶりに廊下に出て、廊下に箱座りしているミロに覚えたこの気功をしていると急に右手が右回りに勝手に動きだして、ミロの身体をさすり始めたんです。

自分でも驚いていたら私の口から低い男性の声で『頑張るんだぞ』と何度も繰り返し言い続けました。

ミロは驚いて逃げてしまいますが私もミロを追いかけて『頑張るんだぞ』『頑張るんだぞ』と励ましの声。自分の口から男性の声が出てくるのが怖かったのですが、ミロは次第にごろごろと喉を鳴らしてリラックスしていました。

玄関の中でも先程よりは小さな声でしたが同様に『頑張るんだぞ』という声に励まされながら、ミロの頭から尻尾の先までさすってもらえました。ふと時計を見ると3時になっていたので1時間程の出来事でした。

ミロに『頑張るんだぞ』と言って貰えたんだから頑張らないとね。ちゃんとお飯も食べるんだよ！と伝えるとミロは『にゃー』と返事をしてしっかりとした足取りで置き餌の場所へ行きバリバリと食べ始め完食し朝のみあげているウエットパウチも半分食べました。

1週間、子猫用チュールと液状ご飯タイプしか食べられなかったのにです。1時間ほどして4時頃には3階から1階まで自分で階段を降り、ハーネスとリードを付け元気な時と同じく散歩まで出来ました。

インターネットでどうぶつ気功院に出逢えなければ、ミロは死んでいたかもしれませぬ。私自身も…。

どなたが後押しして下さったのが御先祖様が分かりませぬが、また一瞬でも怖いと思っししまい申し訳ない気持ちでいっぱいですが希望が持てました。

奇跡が起きて治ってほしいと夢のような事を願うばかりです。